

【若園地区の概況】

北九州市では、製鉄や石炭産業の発展にともなう復興事業が戦後いち早く進み、急激な人口の集中が起きました。そのため、国内の政令指定都市のなかでもっとも高齢化が進んだ地域となっています。なかでも小倉南区若園地区は、戦前の駐屯地が農地として払い下げられ、早い時期から宅地開発されてきたという歴史的背景があります。

また、この地域は小倉南区の行政の中心であり、小倉南区役所、小倉南区図書館などの公共施設が集中しています。国立病院機構小倉医療センターもあり、行政や医療サービスを受けやすいという利便性を持っています。

教育の面では近隣エリアに市立幼稚園から小中高、そして市立大学までがそろっています。さらに、この地域に立地する北九州市立総合療育センターは、医療と福祉の両方の機能を持ち、近隣の特別支援学校とも連携を図りながら、医療・福

祉・教育の3領域から総合的に障害児をサポートしています。

そのため、若園地区は高齢者や子育て世代だけでなく、とくに障害者にとって、もっとも住みやすい街のひとつとなっています。

【活動の目的・目標】

このように若園地区は、さまざまな人が生活しやすい環境がそろっています。しかし一方で、古い住宅地の空き家の増加や、商店街の老朽化などの問題が、街づくりにおける喫緊の課題としてあげられています。

本事業では、すでにある医療・福祉・教育などのインフラ資源を最大限に活用し「高齢者や障害者が住みやすい街は、だれにとっても住みやすい

街である」というインクルーシブ・コミュニティの理念に基づき、住民のニーズと地域を結びつけていきたいと考えています。

都市部において高齢化が進んでいるこの若園地区をモデルとして、新しい共生社会のありかたを実践していくことは、この先、同様に高齢化の課題に直面する日本の他地域の先駆けとなるだろうと考えています。

私たちがめざしているのは地域住民が主体となった、多様性と包容力のある街づくりです。継続的にこうした取り組みを積み重ねていくことにより、若園地区が「福祉の街」として全国に広く認識され、北九州市発の共生モデル事業として国の特区指定をうけることを、ひとつの目標に位置づけています。

- インクルーシブ・コミュニティ (inclusive community) とは、すべての人にとって住みやすい包摂的な地域共同体を意味します。
- 2015年9月の国連サミットでは、持続可能な開発目標 (SDG's) として17の課題があげられました。
- 「ともに暮らす街-わかそのインクルーシブ・コミュニティ構想 (Wakazono Inclusive Community Plan)」では、SDG's の「誰一人とりのこさない」という基本方針のもと、以下のふたつの課題の実現を目指しています。

- 【3】あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
Ensure healthy lives and promote well-being for all at all ages.
- 【11】包摂的で安全かつ強靭で持続可能な都市及び人間居住を実現する
Make cities inclusive, safe, resilient and sustainable.

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



wakazono.inc@gmail.com
winc.apa-apa.net
093-931-1855 (中村)



「ウイंक」の会議は、毎月第3月曜日19時30分より「天盛うどん」若園店でおこなわれます。興味がある方はぜひお越し下さい。

【実施団体】若ワク会・九州フィールドワーク研究会 (北九州市立大学文学部人類学ゼミ)・「WAKAZONO タウンパレード」実行委員会
【連携団体】若園校区自治連合会・若園校区社会福祉協議会・若園校区まちづくり協議会・きくわか通り商店組合・若園市民センター・北九州市保健福祉局総務課・北九州市小倉南区役所コミュニティ支援課・北九州市立大学地域貢献課
「ともに暮らす街-わかそのインクルーシブ・コミュニティ構想」運営委員会

【事業の主旨】
「北九州市小倉南区若園地区に、障害者と健常者、子どもから高齢者までがともに暮らすインクルーシブ・コミュニティを核とした、新しい街づくりの事業を展開する」

ともに暮らす街

わかそのインクルーシブ・コミュニティ構想

Winc
ういんく

3つの事業展開

若園地域の空き家や空き店舗の情報を集約し、利用したい個人や団体をつなぎます。行政と連携し建物のリノベーションをおこない、多様な入居者に対応できるように地域のバリアフリー化を推進します。

空き家
空き店舗の
リノベーション

WAKAZONO
タウンパレード

JR 城野駅からパレードをスタートし、ゴールである小倉南図書館横の公園でタウンフェスを開催します。だれでも参加できるイベントとして、アールブリュット作品展や、高齢者や障害者による音楽やダンス、演劇の舞台も用意します。国内外に広く発信し、全国でほかにないユニークなイベントをめざします。

風船バレー、車いすバスケット、ブラインドサッカーなど、高齢者や障害者を含めた、だれもがともに楽しめるユニバーサルスポーツを支援します。また地域の学校を会場とし、次世代を担う子どもたちへのインクルーシブ教育に活用します。

ユニバーサル
スポーツの祭典
ワカリンピック

イラスト
田中 晃子 (表)
本田 真悠 (裏)

